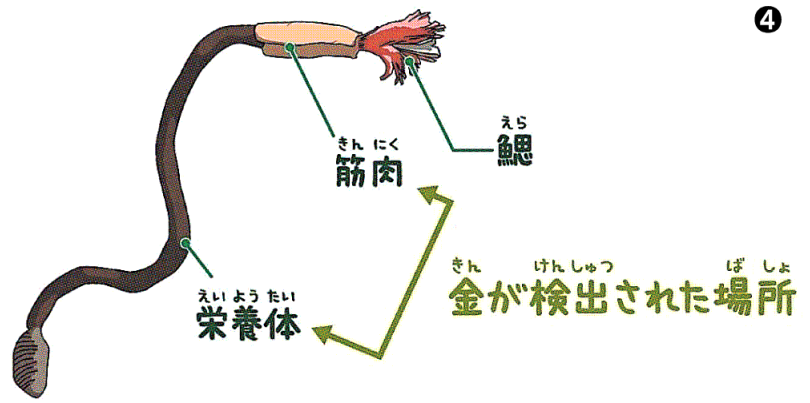
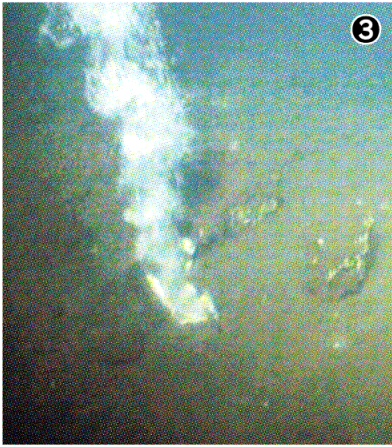
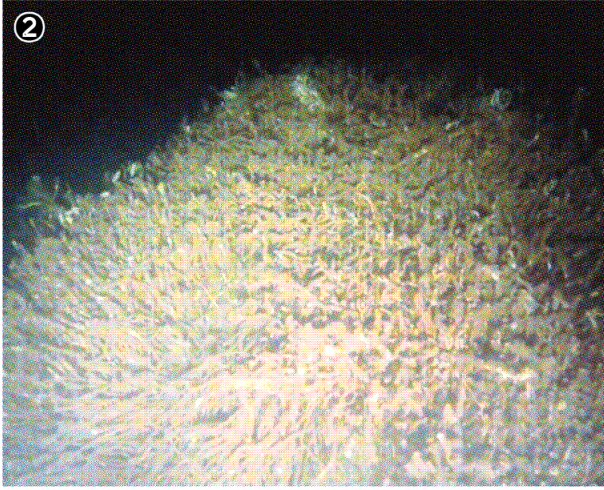


①サツマハオリムシ②鹿児島湾海底のサツマハオリムシ③鹿児島湾の熱水噴出口(写真協力・深田サルベージ建設)④サツマハオリムシの体のつくり



## サツマハオリムシ 実は「金」持ち？

つことが分かりました。サツマハオリムシの「栄養体」という部分に比較的多く含まれ、その量は栄養体1g中に29ナノグラム。ナノとは10億分の1なので、仮にサツマハオリムシ1匹の栄養体が10gだとすると、その中の金の量は0.000000029gとなります。

なぜ体内に金があるのでしょうか？

それは火山と密接に関係しています。火山ガスが噴き出す海底の水にはいろいろな物質が溶け込んでいて、サツマハオリムシに取り込まれ蓄積されます。金だけでなく、銅・水銀・コバルト・ヒ素などの物質も、海水より高い濃度で体内から検出されています。

物質が生物の体内に蓄積されて濃度が高くなっていることを「生物濃縮」といいます。ふつう生物濃縮は食べる・食べられる関係によって、より大型の生物(高次捕食者)に高濃度に蓄積されていくのですが、物を食べないサツマハオリムシの体内でも生物濃縮が起こっているのは興味深いですね。

(魚類展示係飼育員・広瀬純)